



2024(令6)年 3月 第24号
汐見台小学校区青少年育成推進協議会
会長 佐々木 睦子



「笑顔あふれる なぎさの子☆村まつり」

汐見台小学校校長 大越敏孝

「これから～はじめます～ なぎさのむらを～ いや～え～ よいやね～」
オープニングで叩かせていただいた「三宅」という曲の冒頭で歌わせていただいた木遣りの一節です。

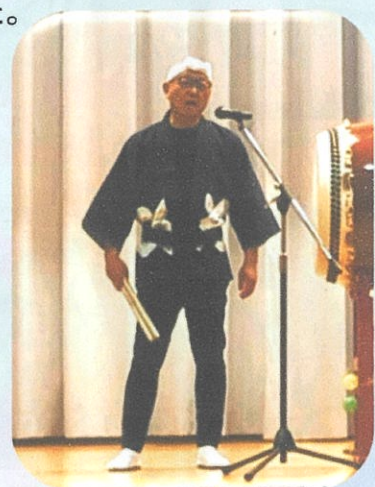
新型コロナウイルス感染症の流行で全国一斉休校になってから、一変した学校。汐見台小学校の創成期から大切にしてきた「なぎさの子☆村まつり」も中止を余儀なくされました。4年ぶりに開催できたことを本当に嬉しく思います。その想いを私の拙い木遣りと太鼓にこめさせていただきました。

これまでの4年間、対面や参集型の行事開催が難しい中、汐見台小学校区推進協の皆様には、村まつりを楽しみにしている子どもたちのために様々な工夫をしていただきました。

「おうちでトライ!」は、放課後に友だちと遊ぶことが難しくなった子どもたちに、家庭でも折り紙や工作で楽しく過ごしてもらいたいとの想いから考えられた企画です。また、「なぎさの子☆チャンネル」は、ステージ村で予定していた発表を録画・編集し、校内放送で給食時間に番組として放映するというものでした。子どもたちの心温まる発表の数々は、教室で黙食する子どもたちの心を明るく共感させました。学校と推進協が一体となって企画・実施した点でも画期的な試みでありました。

そして、実施に向けて動き始めたR4年度、R5年度もコロナによる学級閉鎖等で実施が困難となり、泣く泣く実施を延期。そして、やっと開催できたのが今回の「なぎさ子☆村まつり」です。当日は、松浪中学校の生徒さんや自治会等の関係者のご協力のもと400名を超える子ども達が参加し、笑顔あふれる一日となり大盛況でした。

地域とともにある学校をめざして、コミュニティスクールである汐見台小学校にとってこの「なぎさ子☆村まつり」は、推進協と学校が互いに協力しながら創り上げた素敵なお祭りです。これからもぜひ、ご理解とご協力をお願いいたします。



ステージ村



《なぎさの子☆村まつり開催》

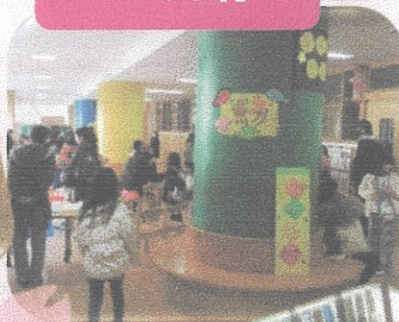
1月27日(土)汐見台小学校にて4年ぶりに「なぎさの子☆村まつり」が開催されました。今年は、9月の予定が延期になりましたのでみなさんがこのおまつりを楽しみにしていました。大越校長先生の和太鼓で村まつりが始まり、「ステージ村」「あそぶ村」「つくる村」「まなぶ村」「ぶんか村」「スタッフ村」どの村も大盛況で、子ども達や大人の笑顔があふれていました。人と人が繋がることができた村まつり。この繋がりをこれからも大切に育んでいきたいです。



あそぶ村



つくる村



ぶんか村



スタッフ村



まなぶ村



《小学生・中学生ボランティアの感想》

- つくる村でうちわを作るのが楽しかった。あそぶ村でも遊べてよかった。またいきたい。スタンプあつめが楽しかった。(小学生)
- 初めていったので、どういのおまつりかな？と思っていたけど、めっちゃ本格的なまつりで楽しかった。スタッフの人たちは中学生や高校生の人たちで僕も中学生になったら手伝いたいなと思いました。特にどこがたのしかったとかはなくどの村も楽しかった。ポップコーンもおいしかった。(小学生)
- 知らなかった子でも気軽に話せる空間ってやはり、このような場所ではなかなかないのではないかと思います。どの学年の子でも楽しくふれあうことのできたことがとても良いと感じました。(中学生)
- 小学生との関わりを学べた。大人の人達の手際の良さを学べた。体操、ダンス、ピアノの発表を見て、自分も自信をもって何かにチャレンジしたいと思った。小学生の楽しそうにやる姿が圧巻でした。(中学生)
- 紙飛行機を教える人だったけど最初紙飛行機の折り方がわからなくて困っていたら、地域の方がおり方を教えてくださって、地域の方々と関わる機会があつてよかったと思った。(中学生)
- 小学生などの小さい子ども達と話したりできてとても楽しかったです。常にお客さんのことを考えて行動したこと、なぎさの子村まつりという企画に貢献できた経験は自分の自信につながりました。(中学生)